

2018年度 事業報告書

学校法人 敬道学園

I. 法人の概要

学校法人敬道学園

代表 : 理事長 牧野 健介 (2016年12月14日就任)

所在地 : 愛知県名古屋市中村区黄金通1-16

設立 : 1967年4月1日

1. 沿革 (2018年3月31日現在)

- 1967年 日本デザイナー学院・日本写真専門学院名古屋校創立
学院長に山名文夫就任
- 1979年 専門学校設置認可に伴い、日本デザイナー学院名古屋校写真科に改称
校長に狭間寿郎就任
- 1981年 校長に横田真利就任
- 1984年 校長に岡本滋夫就任
- 1987年 名古屋校創立20周年記念「高校生デザイン・写真コンペティション」開催
- 1990年 パリ海外研修旅行始まる
- 1991年 名古屋市中村区黄金通に新校舎完成移転
校長に中井幸一就任
- 1995年 マルチメディアデザインコース (現デジタルデザインコース) 設置
- 1997年 名古屋校創立30周年を迎えOB30展開催 マンガコース設置
- 1998年 日本デザイナー芸術学院に校名変更
コミュニケーションアート学科設置
校長に竹内克郎就任
- 1999年 写真科OB35展開催
- 2000年 OB展2000「DIGITALWORLD」開催
- 2002年 創立35周年記念イベント開催
中国国立四川大学芸術学部と姉妹提携
- 2003年 世界グラフィックデザイン会議に出展
- 2007年 校長に田辺雅一就任
創立40周年記念「OB40展」開催
- 2010年 日本マンガ芸術学院開校
(マンガ分野と声優タレント分野に特化した日本デザイナー芸術学院の
グループ校として創設)
校長に成光雄就任
- 2011年 日本デザイナー芸術学院校長に本山星求就任
- 2014年 日本デザイナー芸術学院校長に成光雄就任
- 2015年 学校法人名を敬道学園と改称

2. 設置学校・学科・コース

専門学校日本デザイナー芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年

【設置学科・コース】

ビジュアルデザイン学科 募集定員（60名）

グラフィックデザインコース	2年制
イラストデザインコース	2年制
雑貨デザインコース	2年制

映像学科 募集定員（60名）

キャラクターデザインコース	2年制
写真映像コース	2年制

専門学校日本マンガ芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年

【設置学科・コース】

メディアアート学科 募集定員（200名）

マンガコース	2年制
コミックイラストコース	2年制
小説クリエイトコース	2年制
声優タレントコース	2年制

2. 設置学校の在籍学生数の状況

各設置学校の2018年5月1日現在の学生数

学 校 名	1年	2年	総計
専門学校日本デザイナー芸術学院	47	51	98
専門学校日本マンガ芸術学院	67	80	147

3. 教職員・役員の状況

教職員 80名

役員	理事	牧野 健介	学校法人敬道学園	(常勤・理事長)
		成 光雄	学校法人敬道学園	(常勤・校長)
		宮武 一行	学校法人恭敬学園	(非常勤・外部理事)
		田中 智	株式会社日本教育工房	(非常勤・外部理事)
		杉本 良行	学校法人恭敬学園	(非常勤・外部理事)

監事	鈴木 康弘	株式会社日本教育工房取締役
	大川 高志	株式会社ラバーセンス代表取締役

II. 当該年度の事業の概要

1. 募集活動

2018年4月入学者は、合計114名
 (専門学校 日本デザイナー芸術学院：47名 専門学校 日本マンガ芸術学院：67名)

学 校 名				計	男	女
専門学校日本デザイナー芸術学院				47	17	30
出身県	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	長野県	その他
	25	7	6	1	2	6

学 校 名				計	男	女
専門学校日本マンガ芸術学院				67	23	44
出身県	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	長野県	その他
	42	12	6	2	2	3

2. 就職活動について

当学院では、業界への就職やデビューを実現させるためのプログラムとして「キャリアデザイン」による就職対策、「デビュー支援プロジェクト」を要とした業界へのアプローチを1年次から実施している。

定期的な学生支援の継続で学生の意識向上や積極的な業界へのアプローチを可能とし近年では、業界では難関と言われる企業への就職や在学中からの作家デビューなど実績を重ね、卒業後のキャリア支援も含めた好調な進路決定率を維持している。

2018年度3月卒業生の就職実績としては、専門学校日本デザイナー芸術学院として87%。専門学校日本マンガ芸術学院として93%の実績となる。

3. 進級率・退学者について

当学院では、進級率の向上、退学者の減少の為の施策としてカウンセリングシートを活用した退学要因の把握と個人面談の複数回実施による学校生活サポートを重点項目として取り入れている。

経済的状況による退学者が多い状況の中で、学習意欲の減退や人間関係でのつまづきが最小限にとどまるよう、個々の学生とのコミュニケーションを緊密にとり、生活面及び学習環境の改善に努めている。

2018年度の進級率としては、学園全体として84%である。

4. 当該年度の取り組み

全国的な人手不足を背景に当学院にも多くの企業から求人がよせられたが、学生本位の卒業後の進路を達成する為に、業界就職、一般就職、デビュー、兼業作家等の多彩な進路情報を提供し個々の希望する状況に応じた進路指導を徹底している。就職につながるインターンシップも積極的に取り入れ、学内・学外で活躍できるチャンスの構築と社会情勢の変化に柔軟に対応できる人材の育成を主眼においたカリキュラムを教育の基本の柱として展開した。

結果、デザイン分野での就職実績や、メジャーマンガ雑誌での連載開始、声優としてTVアニメーションへのメインキャスト参加等、近年まれにみる実績を残すことができ、多くの学生が、クリエイター、アーティストとして社会に参画する道筋をつくることができた。

Ⅲ. 財務の概要及び決算報告

【貸借対照表】

資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
(固定資産)	1,408,818	1,435,223	△ 26,405
【有形固定資産】	1,408,278	1,434,684	△ 26,406
【その他の固定資産】	540	540	0
(流動資産)	296,009	327,703	△ 31,694
[資産の部合計]	1,704,827	1,762,927	△ 58,100

負債・純資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部	414,577	478,246	△ 63,669
(固定負債)	111,413	148,570	△ 37,157
(流動負債)	303,165	329,677	△ 26,512
純資産の部	1,290,249	1,284,680	5,569
基本金	2,257,793	2,255,228	2,565
繰越収支差額	△ 967,544	△ 970,547	3,003
[負債及び純資産の部合計]	1,704,827	1,762,927	△ 58,100

【資金収支計算書】

収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
【学生生徒等納付金収入】	262,000	264,911	△ 2,911
【手数料収入】	3,670	3,784	△ 114
【資産売却収入】			0
【事業収入】	17,000	17,070	△ 70
【受取利息・配当金収入】	2	2	0
【雑収入】	15,231	14,801	430
【借入金等収入】	50,000	50,000	0
【前受金収入】	154,000	156,805	△ 2,805
【その他の収入】	46,950	47,609	△ 659
【資金収入調整勘定】	△ 149,391	△ 149,393	2
[前年度繰越支払資金]	323,742	323,742	—
[収入の部合計]	723,205	729,331	△ 6,126

支出の部

(単位：千円)

科目	予 算	決 算	差 異
【人件費支出】	103,500	103,756	△ 256
【教育研究経費支出】	67,870	67,638	232
【管理経費支出】	91,560	90,015	1,545
【借入金等利息支出】	2,050	2,044	6
【借入金等返済支出】	88,640	88,640	0
【施設関係支出】	2,500	2,565	△ 65
【設備関係支出】			0
【その他の支出】	115,023	114,015	1,008
【資金支出調整勘定】	△ 26,023	△ 26,005	△ 18
〔翌年度繰越支払資金〕	278,085	286,663	△ 8,578
〔支出の部合計〕	723,205	729,331	△ 6,126

【事業活動収支計算書】

(単位：千円)

科目	予 算	決 算	差 異
【学生生徒等納付金】	262,000	264,911	△ 2,911
【手数料】	3,670	3,784	△ 114
【事業収入】	17,000	17,070	△ 70
【雑収入】	15,231	14,801	430
〔教育活動収入計〕	297,901	300,566	△ 2,665
【人件費】	104,500	104,839	△ 339
【教育研究経費】	96,270	96,039	231
【管理経費】	92,110	90,585	1,525
〔教育活動支出計〕	292,880	292,955	△ 75
教育活動収支差額	5,021	7,610	△ 2,589
【受取利息・配当金】	2	2	0
〔教育活動外収入計〕	2	2	0
【借入金等利息】	2,050	2,044	6
〔教育活動外支出計〕	2,050	2,044	6
教育活動外収支差額	△ 2,048	△ 2,042	△ 6
〔経常収支差額〕	2,974	5,569	△ 2,595
〔基本金組入前当年度収支差額〕	2,974	5,569	△ 2,595
(基本金組入額合計)	△ 2,500	△ 2,565	65
〔当年度収支差額〕	474	3,004	△ 2,530
前年度繰越収支差額	△ 970,547	△ 970,547	—
〔翌年度繰越収支差額〕	△ 970,074	△ 967,544	△ 2,530
(参考)			
事業活動収入計	297,904	300,568	△ 2,664
事業活動支出計	294,930	294,999	△ 69